

行政視察報告 【池田市の中学校給食】

報告：市議会連合市民クラブ議員一同

安田忠司・岡 留美・津田加代子

文責：幹事長 津田加代子

日時・場所：2016年4月20日（水）11：30～ 池田市議会 議会事務局にて
説明は、池田市教育委員会管理部保健給食課長 塩山宏司さまに大変お世話になりました。頂いた資料、2枚添付しました。

【これまでの経過と全体の質疑】

- ①平成23年 学校施設のこれからの検討し、再編成計画の策定を行った。
統廃合・小中一貫教育などの事柄と共に、中学校給食の検討も課題としてあがった。
⇒ 中学校現場での検討をしていくと実施してほしいの声。
⇒ ならば自校方式でと方向を示す。
- ②5 中学一斉実施が望ましいとなったが、整備費用面で課題に突き当たる。また配膳時間に関する問題もでる。
コスト面では、5 中学の配膳と備品整理費用で、1.8 億円
(うち市の負担は、1 億 200 万円。残りは大阪府補助)
ランニングコスト面では、委託料のみ。平成 28 年度で年間 1.35 億円
保護者負担は、中学生：月 4050 円 小学生：月 3510 円（一食 297 円）
カルシウムを接種するためには牛乳はが欠かせないとして 50 円／本。
給食費に加算されている。
- ③導入後の評価と課題について
 - 1、1 学期終了後にアンケート実施。（生徒）量と温度の課題が明らかに。
 - 2、量については、⇒ふりかけ持参OK・・・食糧費に直結するので、提供せず。
ご飯のお変わりあり、個人でもってきてもよい。
人にあげたりしないで小袋で持参すること。
 - 3、温度については、⇒ 温かいもの（汁物）を食缶方式で届けられる。
平成 28 年 4 月からは、毎日一品温かいものの提供とする。
 - 4、現在ある給食センターの老朽化⇒ 小中学校共用の給食センター建設に向けての考えアリ。
- ④全体を振り返っていくと、
 - 1、自校方式が望ましいと池田市としても考えている。
その理由は、身近で見ることができる。ふれあいや感謝の気持ちが

わく。

- 2、給食費の徴収は、川西と同じ方式の私会計。(川西市は中学校給食導入と同じ時期に公会計にしていきたいと。)
- 3、デリバリーでも各階への運搬には、エレベーターは必至であるといわれていた。
- 4、アレルギーの除去は、卵抜きのみ。今後も。
- 5、池田市の特徴としては、これが実に大きなことかと思われるが、委託は、調理・配送・配膳をしている。

池田市として行っているのは、献立作成 (市の栄養士)・物資の選定・発注。(食材の選定には大きな市としての力を出されていました。)



このブルーの発泡スチロールの箱が運搬箱



温かい汁物用なべ



この日の献立は、焼売・さんまの煮つけ・きゅうりの酢のもの・高菜・豚汁・牛乳・白米